

# 令和8年産(7年播)麦生育情報 No. 6 (R8.5.12)

(情報作成) 滋賀県農業技術振興センター  
 (本年産麦の情報は今回が最終の予定) 滋賀県近江八幡市安土町大中 516 (TEL : 0748-46-4392)

## 1 気象経過と生育状況

### ①気象の経過 (彦根気象台、平成27年～令和6年の平均値との比較)

要素		平均気温	日照時間	降水量
期間				
3月	全般	平年並	多い	平年並
4月	上旬	高い	かなり少ない	やや多い
	中旬	かなり高い	平年並	少ない
	下旬	平年並	かなり少ない	やや多い

注) 平均気温 <±0.5℃:平年並、±0.5~1.0℃:やや高い(低い)、±1.0~2.0℃:高い(低い)、±2.0℃<:かなり高い(低い)  
 日照時間 <±5hr:平年並、±5~10hr:やや多い(少ない)、±10~15hr:多い(少ない)、±15hr<:かなり多い(少ない)  
 降水量 <±10mm:平年並、±10~20mm:やや多い(少ない)、±20~30mm:多い(少ない)、±30mm<:かなり多い(少ない)

### ②生育状況【農業技術振興センター麦類作況調査(4月15日現在)による。表1および後掲グラフ参照。】

- 「びわほなみ」は平年に比べ、莖数はやや少なく、草丈は平年並、葉数は0.3枚少ない。
- 「ふくさやか」は平年に比べ、莖数は平年並、草丈は平年並、葉数は0.1枚多い。
- 「ファイバースノウ」は平年に比べ、莖数は少なく、草丈はやや長く、葉数は0.1枚少ない。
- 開花期は、「びわほなみ」は4月15日(平年に比べ4日早い)、「ふくさやか」は4月15日(平年に比べ4日早い)、「ファイバースノウ」は4月15日(平年に比べ4日早い)であった(表2、5月11日時点)。

表1 令和8年産(7年播)麦類作況調査の結果

農業技術振興センター(近江八幡市安土町大中)

品種名	年次	4/1 調査			4/15 調査		
		莖数 (本/m <sup>2</sup> )	草丈 (cm)	葉数 (枚)	莖数 (本/m <sup>2</sup> )	草丈 (cm)	葉数 (枚)
びわほなみ	R8年産 (平年比)	636 (90)	65.2 (111)	8.9 (-0.2)	606 (93)	72.4 (102)	8.9 (-0.3)
	平年	706	58.8	9.1	650	70.8	9.2
ふくさやか	R8年産 (平年比)	590 (101)	65.2 (110)	9.3 (+0.3)	520 (96)	75.1 (101)	9.3 (+0.1)
	平年	582	59.3	9.0	542	74.2	9.2
ファイバースノウ	R8年産 (平年比)	584 (75)	60.5 (127)	11.9 (+0.7)	502 (82)	89.9 (108)	11.9 (-0.1)
	平年	775	47.5	11.2	611	83.4	12.0

※播種日は、令和7年11月5日。  
 ※「ふくさやか」・「ファイバースノウ」の平年は、平成28～令和7年産(平成27～令和6年播)の10年間の平均値。  
 ※「びわほなみ」の平年は、草丈、莖数は平成28,30～令和7年産(平成27,29～令和6年播)の9年間、  
 葉数は平成30～令和7年産(平成29～令和6年播)の8年間の平均値。  
 ※播種様式は条播(条間25cm)、設定播種量は8kg/10a。

表2 令和8年産（令和7年播）麦類作況調査の生育時期

農業技術振興センター（近江八幡市安土町大中）

基準播種日	びわほなみ						ふくさやか						ニューサチホゴールド			ファイバースノウ		
	11/5			11/20			11/5			11/20			11/5			11/5		
産年	R8	平年	較差	R8	平年	較差	R8	平年	較差	R8	平年	較差	R8	平年	較差	R8	平年	較差
出穂期	4/3	4/6	-3	4/13	4/15	-2	4/5	4/8	-3	4/14	4/17	-3	3/22	3/25	-3	4/8	4/13	-5
開花期	4/15	4/19	-4	4/22	4/24	-2	4/15	4/19	-4	4/22	4/25	-3	-	-	-	4/15	4/19	-4
成熟期	未	5/30		未	6/4		未	5/31		未	6/4		5/11	5/14	-3	未	5/25	

※平年は、「びわほなみ」は11/5播種が9か年（平成28～令和5,7年産）、11/20播種が8か年（平成28,30～令和5,7年産）、「ふくさやか」「ファイバースノウ」は9か年（平成28～令和5,7年産）、「ニューサチホゴールド」は5か年（令和2～5,7年産）の平均値。

5月11日現在の麦の生育状況(農技センター作況調査)



「びわほなみ」



「ふくさやか」



「ファイバースノウ」

## 2 県内の状況

- 気温は10月下旬～1月中旬は概ね平年並で、その後は1月下旬と3月中旬は低かったものの、2月中旬と3月下旬～4月中旬は高く推移しており、出穂期と開花期は平年と比べてやや早まっている。
- 赤かび病の発生に好適な気象条件となると予想されたことから、令和8年度病害虫発生予察注意報第1号「麦類赤かび病多発のおそれ」が4月15日に県病害虫防除所から発表された。

## 3 今後の管理

### (1) 赤かび病防除

- 「びわほなみ」では、散布2回目の7～10日後頃に3回目の農薬散布を実施する。
- 「びわほなみ」以外の品種では、基本とする防除体系(小麦：開花始め～開花期に農薬を1回散布、六条大麦：開花始め～開花期とその7～10日後頃に農薬を合計2回散布)の農薬散布後に気温が高く、曇雨天が続く場合は、最終散布の7～10日後頃に追加散布（「びわほなみ」以外の小麦品種では2回目、六条大麦では3回目）を実施する。  
(詳細は、病害虫発生予察注意報第1号「麦類赤かび病多発のおそれ」を参照)

### (2) 適期収穫

- 出穂期、開花期は平年よりやや早く、大阪管区気象台の1か月予報(5月7日発表)では向こう1か月の気温は高く、特に2週目はかなり高くなる見込みとされており、登熟が早まると考えられるが、実際の気温によって登熟の進みが変わるため、子実水分に注意し収穫作業が遅れないよう準備を整えておく。
- 麦類の成熟期は、外観上、黄緑色が消失して黄白色または褐色になり、子実が糊状の硬さに達した時で、収穫適期は、小麦では成熟期から2～4日後、大麦では1～3日後になる。
- 収穫は子実水分30%以下になる頃に行う。水分が高くと、穀粒の損傷や品質の低下が著しく、乾燥調製施設の処理能力の低下につながり、コストも高くなる。一方、刈り遅れて、降雨にあうと、容積重が低下し、倒伏や穂発芽などの品質低下を起こす危険が高まるので注意する。なお、ビール麦や種子麦は発芽勢を確保するため子実水分25%以下で収穫する。
- 梅雨の合間を縫っての収穫作業になるため、立毛の状態でもまめに子実水分を測定するなど、ほ場の観察を十分に行い、ほ場ごとの作業計画を綿密に立て、刈り遅れないよう注意する。
- 発熱や発酵による被害粒の発生を防止するため、穀粒水分の高い麦は収穫後、速やかに乾燥工程に移す。

表3 登熟期の有効積算気温による小麦の成熟期予測

品種名	1) 基準 播種日	1) 出穂期	成熟期予測日 2)			平年の 成熟期	昨年の 成熟期
			5/8 以降の日平均気温 3)				
			平年並の場合	平年+1℃の場合	平年-1℃の場合		
びわほなみ	11/5	4/3	5/26	5/24	5/27	5/30	6/1
	11/20	4/13	5/30	5/28	6/1	6/4	6/7
ふくさやか	11/5	4/5	5/29	5/27	5/31	5/31	6/2
	11/20	4/14	6/1	5/30	6/4	6/4	6/8

- ※1) 基準播種日および出穂期は農業技術振興センター麦類作況調査データ。  
 2) 出穂期の翌日からの有効積算気温(10℃以上)が、「びわほなみ」は 340℃、「ふくさやか」は 360℃に最も近くなる日を予定日としている(5/10 までの日平均気温は彦根気象台観測データ)。  
 3) 5/11 以降の日平均気温は H28 年～R7 年の 10 年間の平均値を平年とする。  
 平年+1℃、-1℃は、5/11 以降の日平均気温が毎日、平年値より+1℃、-1℃になったとして計算。

水分 (%)	20	30	40
色 (背側)		褐色	黄白色
(腹側)	褐色		黄白色
硬さ (指の腹で)	つぶせない	押しつぶせる	ひねりつぶせる (糊状)
硬さ (爪の先で)	割りにくい	なんとか割れる	容易に割れる
断面形状	固形状	硬い糊状	柔らかい糊状

コンバイン収穫適期

図1 簡便法による収穫適期の見分け方

### (3) 排水対策

○登熟期の湿害は減収するだけでなく、加工適性を含め品質を大きく低下させるので、排水溝を今一度点検し、速やかに排水するよう、溝さらえ等を徹底して行う。

**【参考サイト】**

農業技術振興センター <http://www.pref.shiga.lg.jp/nougicenter/>

病害虫防除所 <http://www.pref.shiga.lg.jp/boujyo/>

彦根地方気象台 <http://www.jma-net.go.jp/hikone/>

早期天候情報 <https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/souten/>



農業技術振興センター



病害虫防除所



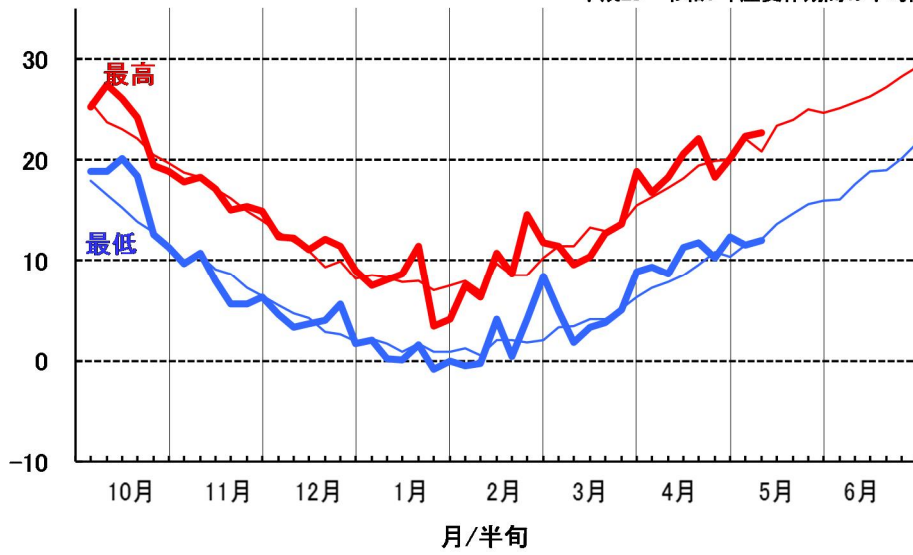
彦根地方気象台



早期天候情報

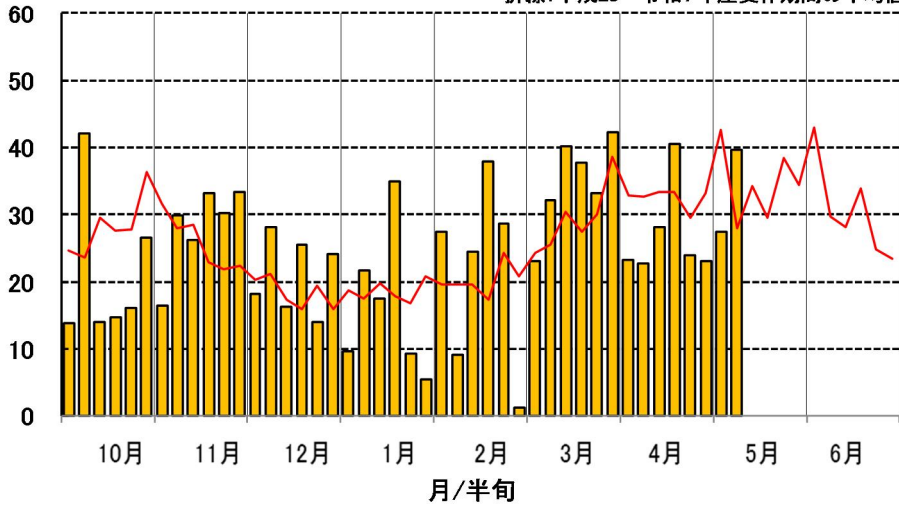
令和8年産(令和7年播) 麦作期間半旬別気象図(彦根気象台観測)

(°C) 【気温の推移(最高気温、最低気温)】 — 本年(令和8年産)  
 — 平成28~令和7年産麦作期間の平均値



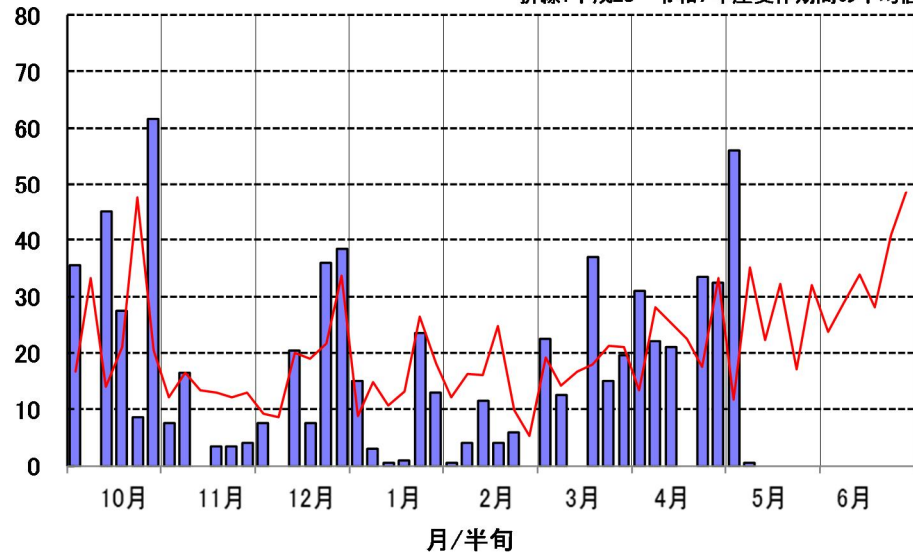
(hr) 【日照時間の推移】

棒線: 本年(令和8年産)  
 折線: 平成28~令和7年産麦作期間の平均値



(mm) 【降水量の推移】

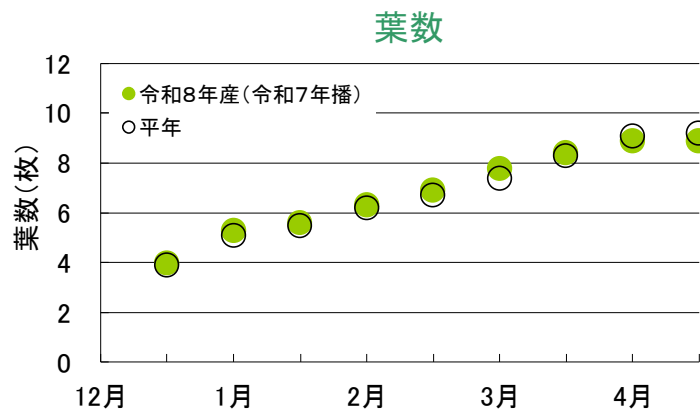
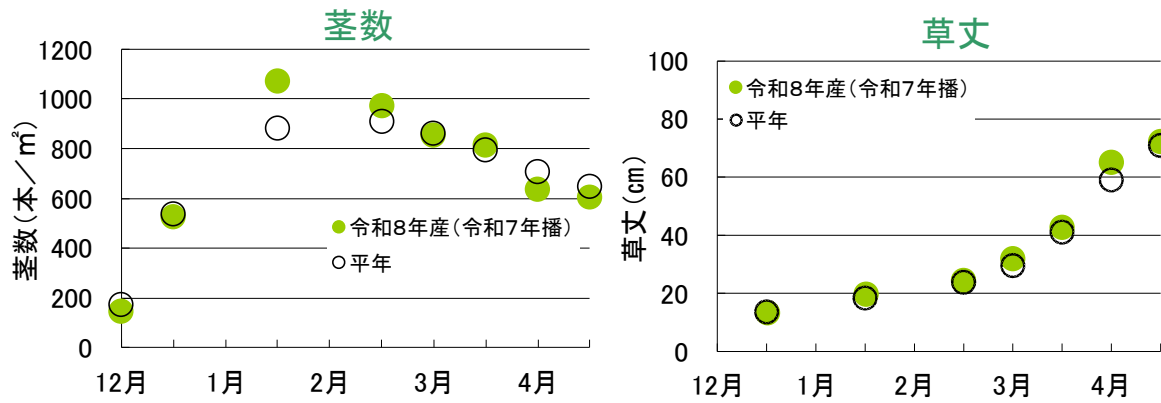
棒線: 本年(令和8年産)  
 折線: 平成28~令和7年産麦作期間の平均値



# 令和8年産生育調査結果(1)

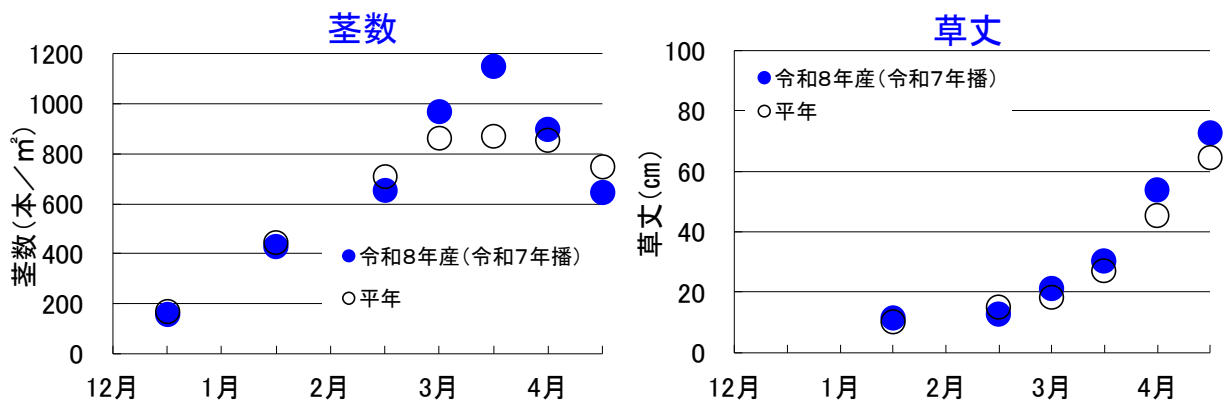
## 「びわほなみ」

### 令和7年11月5日播



### (参考)

### 令和7年11月20日播

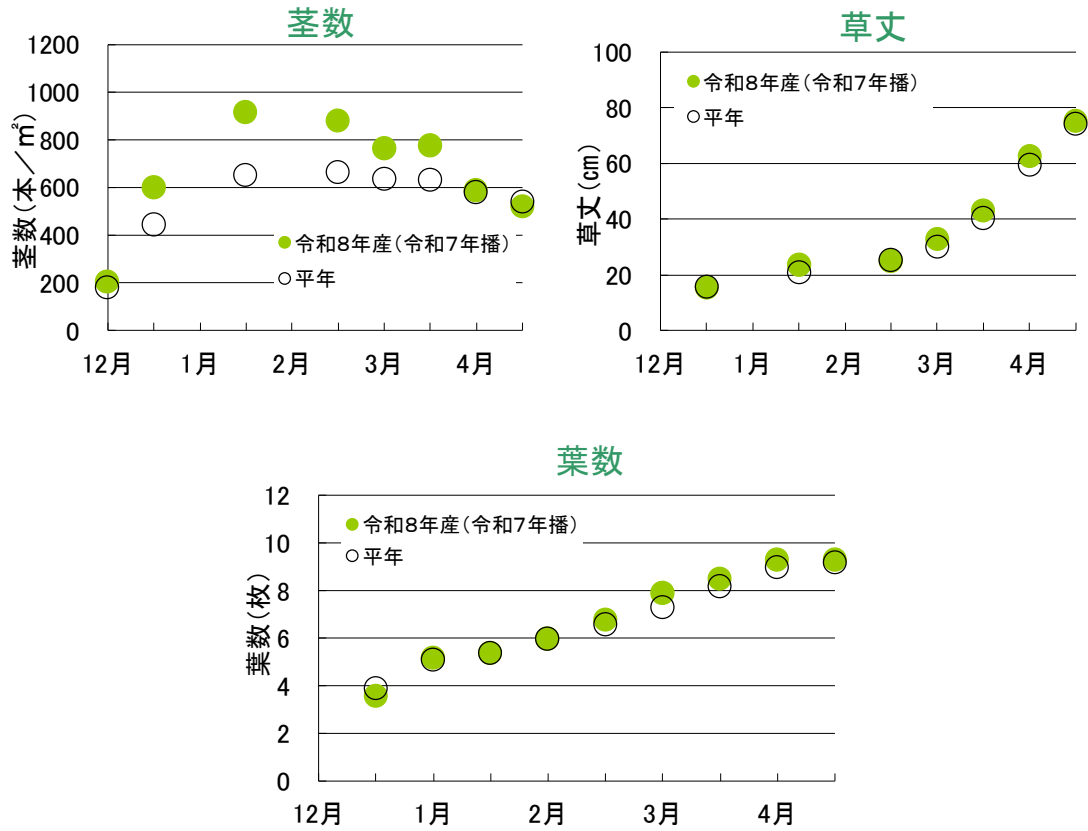


※草丈、茎数、葉数の平年値は、平成28.30～令和7年産(平成27.29～令和6年播)の9年間の平均値。

## 令和8年産生育調査結果(2)

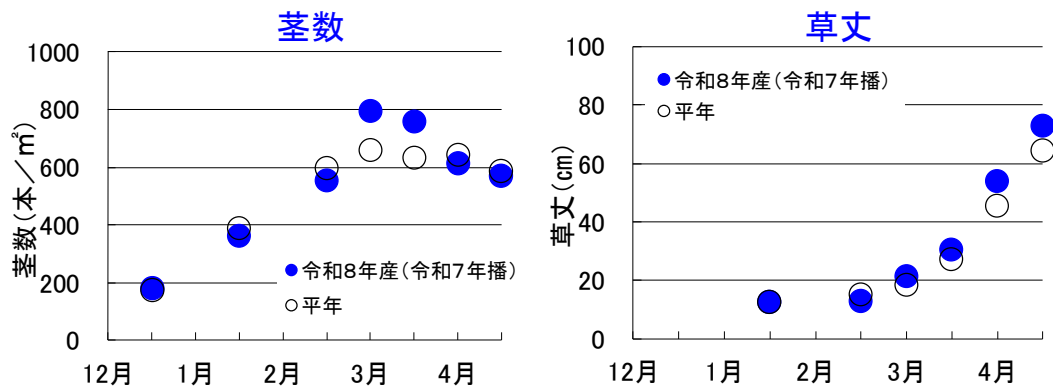
### 「ふくさやか」

#### 令和7年11月5日播



#### (参考)

#### 令和7年11月20日播

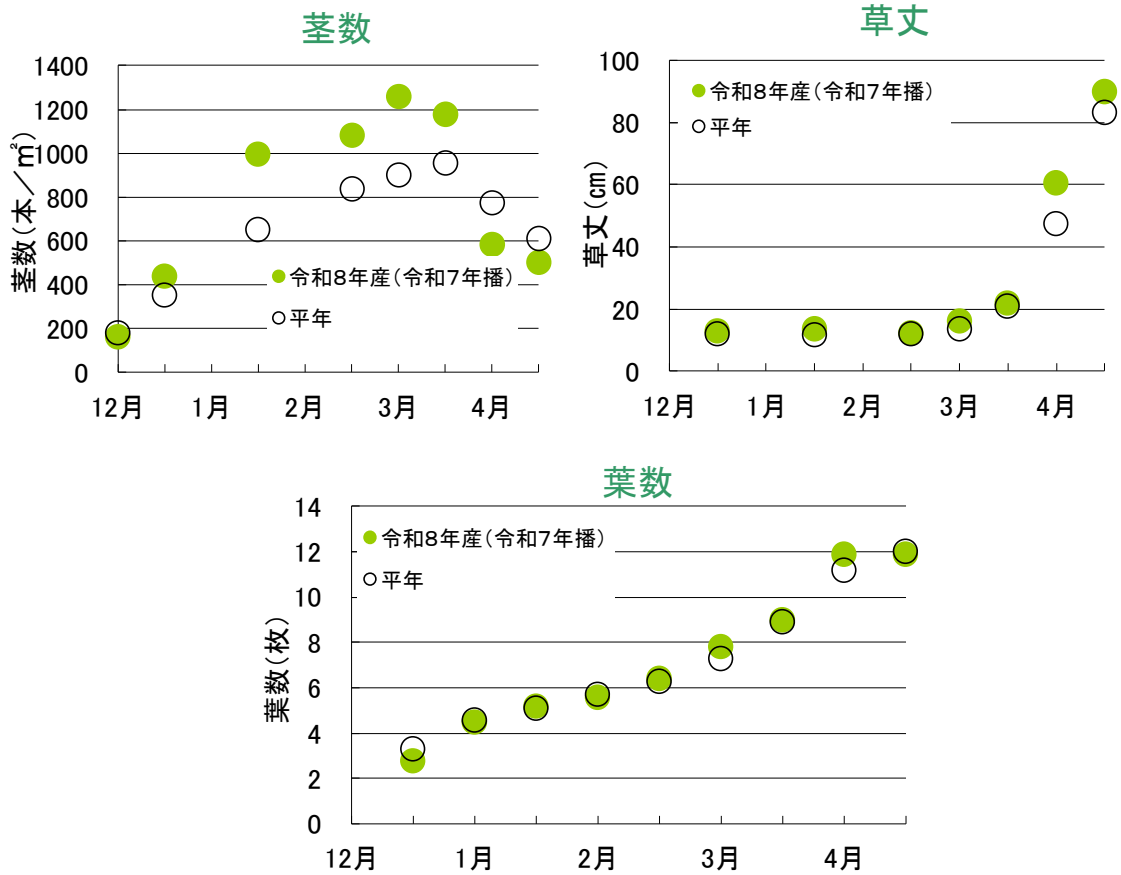


※草丈、茎数、葉数の平年値は、平成28～令和7年産(平成27～令和6年播)の10年間の平均値。

## 令和8年産生育調査結果(3)

### 「ファイバースノウ」

令和7年11月5日播



※草丈、茎数、葉数の平年値は、平成28～令和7年産(平成27～令和6年播)の10年間の平均値。



Instagram始めました

滋賀県農業技術振興センターの  
公式アカウントです  
各研究部門・農業大学校・  
農業革新支援部から  
旬の情報やお知らせを  
お届けします  
フォローをお願いします！

(写真は今後の配信内容イメージです)

nougi\_shiga

検索



NOUGI\_SHIGA



滋賀県農業技術振興センター